



# Japan Business School Case Competition 2016

## 課題ケース

### 株式会社ラックウェル<sup>1</sup> (追加情報)

「さて、どうしたものかな・・・」

株式会社ラックウェルの代表取締役社長となった神山啓介は、取締役会に向けて、自社の今後の再生戦略と10年後を見据えた成長戦略を、各取締役、さらには大株主やメインバンク等あらゆるステークホルダーに対して、個別に説明して回った。

反応は、賛否両論。

諸手を挙げて賛同する者もいれば、ものすごい剣幕で反対の弁を述べる者もいた。

今回の再生戦略と成長戦略は、神山と経営企画室のメンバーで、寝る間も惜しんで立案したものであり、神山はその戦略に相当な自信を持っていた。

しかし、どんなに良い戦略であっても実行できなければ意味がない。

「どうやってこの戦略を実行段階に移していこうか・・・」

神山は社長室で考え込んでいた。

#### 【 設問 】

立案した再生戦略及び成長戦略に対し、誰がどのような理由で反対したと考えられますか。また、代表取締役社長である神山の立場で、その反対に対してどのように対応し、戦略を実行段階に移していきますか？取締役会で説明してください。

---

<sup>1</sup> このケースは、ケースコンペティションの資料として、オリジナルで創作されたものであり、登場する企業や人物等の固有名詞、記載された内容や数値等はすべて架空のものである。本ケースは、株式会社経営共創基盤の協力のもと JBCC2016 実行委員会 ケース制作班（名古屋商科大学 大学院マネジメント研究科 小久保佳祐、小津真一郎、吉永雄介、グロービス経営大学院 山田亮、金子沙織、中央大学大学院戦略経営研究科 福井裕明、小野優子）が作成したものであり、ケースの複製等の問合せは JBCC 実行委員会 (<http://jbcc.jimdo.com/>) に連絡を行うこととする。JBCC 実行委員会の許可を得ずに、本ケースのいかなる部分の複製・検索システムへの取込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他の種類を問わない）による伝送を行ってはいならない（ただし株式会社経営共創基盤は除く）。Copyright©2016 は JBCC 実行委員会が保有する。